

自治会活動の活性化に向けてのヒント

近年、自治会の役員の高齢化や加入率の低下といった課題を抱え、自治会活動を縮小している町会・自治会もあり、地域のつながりが薄くなっていることが懸念されます。

自治会ごとにさまざまな課題がありますが、自治会活動の活性化が課題解決のきっかけとなるよう、自治会で取り組んでいる事例やアイデアについて紹介します。

活性化事例①～安心・安全な地域づくりに向けて～

- ▶AEDの設置 ※市の設置補助制度あり（詳しくはP11、12参照）
- ▶防犯カメラの設置 ※市の設置補助制度あり（詳しくはP15、16参照）
- ▶防災訓練の充実（近隣自治会と合同で開催など）※参考P23
- ▶防災関係備品や防災バックの配布

自治会で防災用品を配布するほか、各家庭で防災用品を購入した際に、自治会が費用の一部を補助するというアイデアもあります。

自治会全体だけでなく、一人ひとりの防災意識の向上にもつながります。

活性化事例②～デジタルツールの活用～

- ▶アプリやウェブサービスの活用（会費の集金、電子回覧、災害時の安否確認等）
- ▶オンライン会議やホームページの運用

デジタルツールを活用し、自治会運営の負担が減ることで、移動が困難なことを理由にこれまで参加が難しかった方も参加しやすくなります。また、全て非対面とするのではなく、役員や隣近所の方と顔を合わせる機会もあると安心です。

デジタルツールをうまく活用しましょう！

◎新しい事業ができなくても…

会費等の適正化、既存事業の充実化など、今の状態を適宜見直すことも自治会運営で大切です。

住民のニーズやライフスタイルは時代とともに変化しているため、自治会活動も時代の変化に応じた運営方法を検討し、誰もが参加しやすい自治会を目指しませんか

